

| 会 議 録                            |                |   |        |                        |
|----------------------------------|----------------|---|--------|------------------------|
| 平成27年度第3回<br>生活支援事業協議体           | 日<br>時         | 平成27年12月22日（火）<br>14時00分～16時00分   | 場<br>所 | 小金井市前原暫定<br>集会施設 1階会議室 |
| 事務局                              | 小金井市福祉保健部介護福祉課 |   |        |                        |
| 出席者                              | 委 員            | 高良委員長（東京学芸大学）<br>森田副委員長（また明日デイホーム）<br>近江屋委員（ボランティアセンター）<br>阿久津委員（地域福祉コーディネーター）<br>清水民生委員（民生委員児童委員協議会）<br>高橋尚子氏（さくら体操リーダー）<br>第2層コーディネーター<br>菊池氏（小金井きた地域包括支援センター）鈴木氏代理<br>金子氏（小金井ひがし地域包括支援センター）<br>高橋徹氏（小金井ひがし地域包括支援センター）補助<br>中村（紗江子）氏（小金井みなみ地域包括支援センター）<br>中村（紀美）氏（小金井みなみ地域包括支援センター）補助<br>雨宮氏（小金井にし地域包括支援センター） |        |                        |
|                                  | 事務局            | 鈴木高齢福祉担当課長、本木包括支援係長、萩主事（介護福祉課）<br>本山（第1層コーディネーター）   |        |                        |
| 傍聴の可否                            | ◎可 ・ 一部不可 ・ 不可 | 傍聴者数  | 1人     |                        |
| 傍聴不可・一部不可の場合の理由                  |                |   |        |                        |
| 次 第                              |                |   |        |                        |
| 1 開会                             |                |   |        |                        |
| 2 議題                             |                |   |        |                        |
| (1) 報告事項                         |                |   |        |                        |
| ① 第1層協議体委員の新編成                   |                |   |        |                        |
| ② 第2層協議体のあり方、及び、生活支援コーディネーターの動き  |                |   |        |                        |
| ③ 資源情報のリスト化と「介護サービス情報の公表」システムの活用 |                |   |        |                        |
| ④ 地域目標に沿った包括圏域ごとの取り組み状況          |                |   |        |                        |
| (2) 協議事項                         |                |   |        |                        |
| (みなみ地域) 目標実現に向けた具体策について          |                |   |        |                        |
| (3) 次回協議体の開催予定                   |                |   |        |                        |
| 3 その他                            |                |   |        |                        |
| 4 閉会                             |                |   |        |                        |

## 1 開会

鈴木高齢福祉担当課長から挨拶  
資料確認

## 2 議題

### (1) 報告事項

#### ① 第1層協議体委員の新編成

(萩主事)

第1層協議体委員に高橋尚子氏の追加委嘱を議題として挙げている。委員の候補に挙げる理由としては、小金井市民であって、長年にわたって桜町病院など、地域でのボランティア活動を続けておられ、また、ファミリーサポートセンターの協力会員、町会の役員及び町会主催のさくら体操自主グループの立ち上げ、平成22年からは福社会館のさくら体操のリーダーを担うなど、主体的に地域貢献活動を行ってきたことなどが挙げられる。

今後、本事業を進める上で、地域で主体的に貢献活動をしておられる市民の方の御意見も重要と考えるが、新委員の選出について皆様いかがか。

(委員一同)

同意

#### ② 第2層協議体のあり方、及び、生活支援コーディネーターの動き

(萩主事)

第2層の協議体については、地域の実情に応じて柔軟に設置するものとし、近隣市の取り組みとして、議題が共通のものであれば、小地域ケア会議についても第2層の協議体の機能を有するものとみなしていることから、当市においても同様の取り扱いとする方向を考えている。

また、連携会議の中で、第2層コーディネーターから何町何丁目にお住まいの住民の方に集まっていたいただき、地域の課題などについて話す場を第2層の協議体と位置づけるほうが動きやすいのではないかという意見が上がっている。地域の実情に応じたメンバーに集まっていたいただければよいのではないかと考えている。

こうした第2層協議体で出た課題などで市全体にかかわる課題や地域だけでは解決できない課題が出た場合には、第1層協議体に議題として上げていただき、第1層協議体で検討しまして、第2層協議体にフィードバックするといった連携ができるような仕組みづくりを考えている。本協議体の内容を市の政策提言まで上げる仕組みも最終的にはつくり上げられればよいと思っている。現段階では、年2回開催している地域包括運協や地域ケア会議にこの協議体の協議した内容を報告し、そこから政策提言

につなげていくという流れが一つ考えられる。

第2層のコーディネーターの動きとしては、第2層協議体の開催報告をすると共に、協議や助言が必要な事項を第1層協議体に連絡をする流れになるかと思う。

(高良委員長)

地域ケア会議に 第2層協議体の機能を持たせるということはよく聞く。実際に第2層のコーディネーターの方々がしっかりと活動されて、そして地域づくりができるような方法、システムや仕組みをつくっていかねばいけないと思う。地域の人たちが課題があって集まって、そこに第2層のコーディネーターが行かれたらその活動もオーケーと、柔軟性を持たせるという意味合いで、この第2層の協議体を地域ケア会議に入れるという理解の仕方ではよろしいでしょうか。

(委員一同)

同意

③資源情報のリスト化と「介護サービス情報の公表」システムの活用  
事務局より資源リストを提示し、システムへの反映について説明

④地域目標に沿った包括圏域ごとの取り組み状況

(雨宮氏)

にし包括では、昨年度の小地域ケア会議で出された抽出課題を検討し、最も必要と思われる社会資源を絞っていただき、その理由を伺った。

結果は、いつでも気軽に集まれる場所、歩いていける場所、男性の集まれる場所、情報交換ができる場所が必要だということで多く意見が出された。その他にも、ご近所同士の助け合いや自然な形でのおつき合いという形での住民同士のネットワークが必要という意見が多く出された。

小さなエリアごとの課題収集については、独自のアンケートを活用しながら、地域で行われる集まりなどにこちらから出向いて行って意見を伺う予定である。

(金子氏)

ひがし包括では、現在ある居場所と今後あるといい地域の居場所についてテーマを設定してグループワークを行い、圏域をさらに細分化した形で話し合いの場を設けた。

検討結果としては、地域において交通の便や、商店といった社会資源など、ニーズにもばらつきがあることが確認できた。異世代間の交流を希望する声も、各グループ共通のものであったように感じた。

もっとコアで小さい会議で話し合いをする場をぜひ設けてほしいという声が出たため、東町4丁目を考える会というような形で、地域ごとでの課題を検討する場を今後設けていけたらと思っている。

(菊池氏)

きた包括では、昨年度から議題を継続しており、圏域の中のよい点と悪い点という問題点を挙げて、その中で地域でどのようなことができるかを検討する形で進めてきた。地域で支える「ちょっとボランティア」をテーマにして、まずは地域で生活するおのこの現時点における地域での支え合いに対する意識と現時点での地域の力を振り返ってみようということを進めている。もちろん1回限りで解決にまでは到達できないため、これからも協議体や小地域ケア会議などを重ねていかなければいけない。まずは地域の方が地域に目を向けて、地域の問題を一緒に考えていく。身近に考えていくことができる初めの一歩になったと思う。

(中村紗江子氏)

みなみ包括では、基本チェックリストから見える地域の課題について6グループに分かれて協議をしていただいた。それぞれ地域特性や生活で感じる地域課題を話し合い、何があると今後いいのかという提案をしていただいた。近くに集える場所が少ない、交通の便が悪い、商店が少ないという3点が多かった。

今後の動きとしては、集まれる場所があれば、活動の企画をしていきたいという御意見をいただいたので、活動エリアに向けて、地域住民の参加を募った話し合いの機会をまずは設けて考えていきたいと思っている。

## (2) 協議事項

(みなみ地域) 目標実現に向けた具体策について

(中村氏)

小地域ケア会議の中で老人会会長から御意見があったことを踏まえて、来年2月に住民参加を募った話し合いの機会を設けたいと考えている。きっかけになったのは、町別協議会で民生委員さんから空き家を活用することができないか、前原1、2丁目には集会所などの集まれる場所などがないという地域課題を伺ったことだった。既存の場所を利用し、歩いていける距離に集まれる場所をつくることで、外出の機会が増えることや、他の利用者の方との交流によるコミュニケーションの機会増大や、運動機能維持向上という形で解決ができることを目的としている。

ファシリテーターや老人会会長などの協力・企画により、市民活動・サロンなどを開催し、興味のある方に参加してもらう形を想定している。さらに、自然発生的な集まりもそういった場所に生まれてくることを考えると、そこに集まる方から新たに運動教室などの活動の展開、既存活動の巻き込みもできるとよいと考えている。

(高良委員長)

今、ここがいいと思っているような場所は想定があるのですか。

(中村紗江子氏)

石材店がたくさんあるので、閑散期を借りるといような御提案はいただいている。

(阿久津委員)

まず石材店組合に提案し、そこから会員に話を振ってもらえる可能性はある。

(森田副委員長)

私どもの事業所では、地域への開放スペース事業というものをやっており、そこで日々思うことの大事なことの1つとしては、場所があってもそこに人がいないことには継続した集いの場になりがたい。特にファシリテーターというよりはコーディネーター。こんにちは、今日は何がありましたかといような、誰かがいる必要はやはり出てくるのかなということが実感としてある。

(近江屋委員)

専門の方が最初はいたほうがいい。地域の方が集まる中で、だんだんと自分たちの活動にしてもらおうといい。

(高橋尚子氏)

地域の方で複数のリーダーさんのグループみたいなものができるといいのではないかと思う。

(中村紗江子氏)

いろいろと皆さんから御意見をいただいたので、持ち帰ってまた話し合いを進めたいと思う。社協さんにも御協力いただければと思う

### (3) 次回協議体の開催予定

事務局より3月下旬での開催を提案

3 その他  
意見なし

4 閉会